

## 障がい者森林体験モデル事業の実施について

### 1 事業の目的

森林活動に親しむことが難しい障がい者が、置賜の森林の素晴らしさを体感する機会を設けるため、障がい事業所等が障がい者森林活動案内ボランティアなどの協力を得て森林体験を実施できるモデルづくりを行い、その普及を図る。

### 2 事業の特徴

外出する機会が少ない障がい者の外出機会を設けるとともに、森林利活用の促進を図るため、緑環境税基金充当事業として平成19年度から障がい者の森林体験事業を実施。緑環境税基金充当事業としては令和2年度に終了となったが、存続を望む声が多かったことから、予算措置のない形でモデル的に実施するもの。コロナ禍による中断を経て5年ぶりの実施となる。

### 3 事業の概要

期 日 令和5年5月31日（水）午前10時～11時 ※悪天候時中止

場 所 <sup>びるざわこ</sup>蛭沢湖（高畠町安久津） ※集合場所：蛭沢湖駐車場

日 程 9：30～10：00 受付（協力者は9：50までに受付）

10：00～10：10 集合、あいさつ、事務連絡ほか

10：10～11：00 蛭沢湖畔を散策

11：00 散策終了、解散

協力者 二宮 享 氏（障がい者森林活動案内ボランティア）

白壁 洋子 氏（障がい者森林活動案内ボランティア）

平間みゆき 氏（ピアカウンセラー）

参加者 ひまわり南陽（生活介護事業所）利用者及び職員 計8名（予定）

問合せ先

保健福祉環境部地域保健福祉課

課長補佐 高橋 勝志

T E L 0238-27-1487

報道監

総務企画部長 佐々木 秀徳